

ひび割れ低減コンクリート

福井宇部生コンの新商品

国交省認定で県工事に採用

福井宇部生コンクリート

（福井市上森田5丁目、南谷哲彦代表取締役）

開発の「福井宇部FBコン」が、福井

県三国土木事務所発注の九頭竜川流域下水道

事業水処理施設第8系

列（土木）増設工事において本格採用され、

現在打設工が着々と進められている。

その1工事（飛鳥建設JV）に約5000立方メートル、またその2工事（半澤組）には1000立方メートルを施工。誕生した。このほど国交

省のNETISにも新規登録され、今回お墨付きをもらっての堂々の施工だ。特長はフライアッシュという北陸電力の敦賀火力発電所から排出される石炭灰を有効利用（地産地消）し、ひび割れ低減型コンクリートとして積極的にリサイクル活用する。7日、施工現場

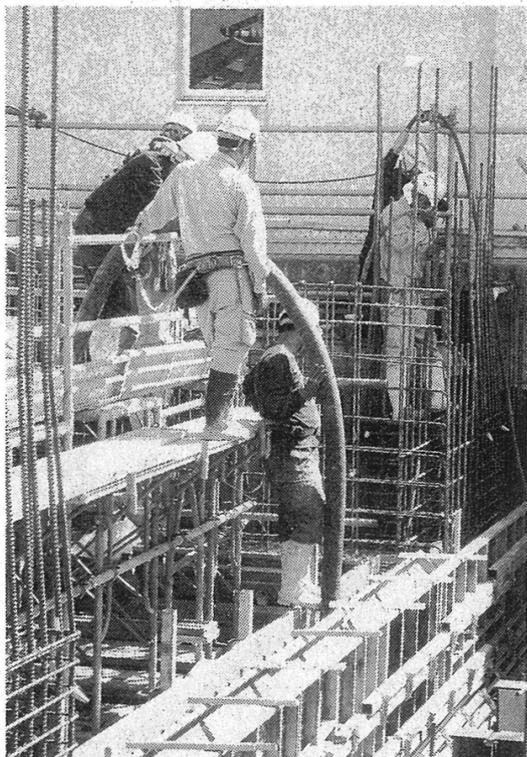
写真で取材に応じた同社の石川裕夏常務は「今回の施工を通じて、施工者にも福井宇部FBコンのひび割れ低減効果を実感して頂いている。引き続き、質の高いコンクリートの提供に努めたい」などと話した。

計は日水コンが担当。この新商品は04年度から3カ年にわたり福井県と福井大学、同社とユニコンによる産学官連携の共同研究で誕生した。このほど国交

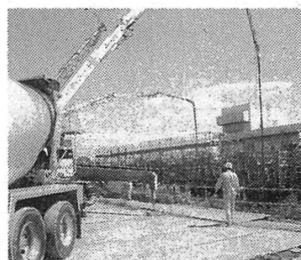
省のNETISにも新規登録され、今回お墨付きをもらっての堂々の施工だ。特長はフライアッシュという北陸電力の敦賀火力発電所から排出される石炭灰を有効利用（地産地消）し、ひび割れ低減型コンクリートとして積極的にリサイクル活用する。7日、施工現場

写真で取材に応じた同社の石川裕夏常務は「今回の施工を通じて、施工者にも福井宇部FBコンのひび割れ低減効果を実感して頂いている。引き続き、質の高いコンクリートの提供に努めたい」などと話した。

産学官共同が実る



福井県三国土木発注の九頭竜川流域下水道事業水処理施設増設工事採用現場



省のNETISにも新規登録され、今回お墨付きをもらっての堂々の施工だ。特長はフライアッシュという北陸電力の敦賀火力発電所から排出される石炭灰を有効利用（地産地消）し、ひび割れ低減型コンクリートとして積極的にリサイクル活用する。7日、施工現場写真で取材に応じた同社の石川裕夏常務は「今回の施工を通じて、施工者にも福井宇部FBコンのひび割れ低減効果を実感して頂いている。引き続き、質の高いコンクリートの提供に努めたい」などと話した。